



KTCC

協
同
組
合

関西技術協力センター

Kansai Technical Cooperation Center

2026

6月号

Vol.26

K T C C



N E W S



～世界の人々に日本を好きになってもらう～

『KTCC NEWS』6月号を

お届けいたします



拝啓 入梅の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊組合では、私どもの活動を多くの方に知っていただきたく、広報誌を毎月発行しております。紙面では実際に外国人材を活用されている企業様のお声、外国人材の活躍の様子、業界の最新ニュースなどをご紹介します。

ご高覧いただけましたら幸いです。

敬具



組合紹介 | 協同組合 関西技術協力センターについて

弊組合は、ベトナムやインドネシアなどの発展途上人材を日本企業へ受入れ、OJTを通じて技能・技術または知識を開発途上地域へ移転し、当該地域などの経済発展に寄与する「外国人技能実習制度」の監理団体です。加えて、一定の専門性・技能を有し、企業での即戦力になりうる外国人材を受入れる「特定技能制度」の登録支援機関でもあります。

20年以上に渡る企業と外国人材へのサポート実績に高い評価を頂き、全職員が「日本企業と海外を結ぶ架け橋になる」「日本で成長した若者を世界に」の思いで活動しています。

外国人材に関する疑問やご質問がございましたら、ぜひお問合せください。



企業さま主催の技能実習生「修了証書授与式」



企業様が催される技能実習生の実習修了証書授与式。その様子を取材しました。

(詳しくは中面をご覧ください)



6月号のTOPICS

技能実習生の修了証書授与式 / KTCC業界ニュース

現場向け手引書 / 2026年度「日本語作文コンクール」募集開始!

Topic 技能実習生の「修了証書授与式」

愛知県のP社様では、3年間の技能実習を無事に修了した実習生に「修了証書」を授与します。社内の方も多く出席される授与式の様子をお伝えします。



電気機器製造業のP社様では、4月に12名の技能実習生が3年間の実習満了を迎えました。社長を初め、役員の方々、実習生たちを側でサポート頂いたスタッフの方々が列席されました。みなさんが見守る中、式典が始まりました。

実習生一人ひとりの名前が呼ばれ、社長から修了証書と記念品が手渡されました。実習生への祝辞の後は、送出し機関でお世話になった日本語の先生からのメッセージ動画、その後、実習生の面接から今日までの3年間の歩みの動画が上映されると、涙をそっと拭う実習生の姿もありました。実習生たちからは、3年間を振り返るスピーチ発表があり、会場は、笑顔とあたたかな拍手に包まれました。



新たなステージへあゆみ続ける
みなさんの未来を応援しています...

このように盛大な修了式を開いていただき、ありがとうございます。3年間は長いようで振り返るとあっという間でした。日本で学んだ仕事への責任感やまじめに取り組む姿勢は、これからもずっと私の人生で忘れないと思います。(実習生Aさん)

お世話になり、本当に感謝しています。ここに来てよかったと思います。帰るのは寂しいですが、みなさんとの思い出を大事にしていきます。(実習生Bさん)

料理をつくったり、自転車で出勤したり、毎日の小さなことが、私を強くしてくれました。帰国の日を楽しみにしていましたが、今は少し寂しいです。みなさんと過ごした3年間は私の宝物です。(実習生Cさん)

日本語がわからない、文化の違い、仕事に慣れないことで少し大変な時期もありました。家族が恋しくなり、ストレスを感じることもありました。それでも周りのみなさんのおかげで、少しずつ乗り越えられました。(実習生Dさん)



修了した
実習生たちの
スピーチ

この会社で働き、日本で過ごして、毎日少しずつ成長し、前より自信を持つことができました。みなさんと話すことでコミュニケーションも取れるように。ここで過ごした時間を忘れません。(実習生Eさん)

日本語が分からず仕事も失敗しましたが、やさしく教えていただきました。はじめて外国で生活することは大変でしたが、みなさんのおかげで無事に実習を修了できました。(実習生Fさん)



実習生たちに感謝と敬意を込めて 企業様コメント

「3年間で積み重ねてきた努力と成長に対し、企業として正式に感謝と敬意をお伝えするとともに、日本で過ごした数々の思い出や経験を胸に、次の人生へと歩み出して欲しい」そのような想いから、弊社では、修了証書授与式を開催しています。

また、実習修了を一つの大切な節目として、最後まで責任をもって実習生を送り出すことが、受入れ企業としての責任であるとも考えています。

実習生たちのご家族にもお会いして、日本での実習期間を安心して生活できるよう、全力でサポートするとお約束してきました。日本へ送り出されたご家族の想いを受け止めながら、実習が無事修了し、笑顔で帰国する姿を見送ることができ、安堵の気持ちでいっぱいです。長い時間をともに過ごしたので、寂しさもありますが、それ以上に、これからの人生への応援を笑顔で伝えたいという想いです。





外国人材 業界ニュース

外国人材受入れに関する制度内容や最新情報、受入れに関するアイデアなど、多様な視点の外国人材に関するニュースを毎月お届けします。

「育成就労制度」のポイントと外国人材活用のメリット



いよいよ
10ヵ月後に
スタート！

2027年3月末日で技能実習制度が終了し、4月1日から新たに「育成就労制度」が始まります。制度の目的や運用方針も順次公表されており、外国人材の活用を検討する企業様にとっては、今後の採用や受入れの進め方などを考え、具体的に行動するタイミングとなりました。今月号では、現行の技能実習制度と育成就労制度との比較、加えて外国人材活用のメリットをお伝えします。

【技能実習制度と育成就労制度で異なる5つのポイント】

1. 制度の目的

技能実習：「国際貢献・技能移転」
育成就労：「人材確保・人材育成」
◎企業の人材ニーズに沿った制度へ

2. 業務範囲

技能実習：細かい業務区分が必須
育成就労：業務区分内での就労が可能、
必須業務は総労働時間の3分の1以上
◎現場ニーズにあった柔軟な業務配置が可能

3. 転籍

技能実習：原則不可
育成就労：一定条件で可能

4. 特定技能への移行

技能実習：条件により試験免除あり
育成就労：試験免除なし

5. 日本語要件（開始時）

技能実習：原則要件なし（介護除く）
育成就労：N5相当が基準
◎N5に未合格でも開始できるが、入国後の日本語講習期間が長くなり、企業様の費用負担増の見込み

【制度移行に向けた注意点】

育成就労制度では、以下の費用が発生する見込みです。

- ・N4取得を目標とした日本語教育費用（指定講習費用は企業負担）
- ・送出し機関へ支払う費用の一部負担（月収の2ヵ月分を越す費用は企業が負担）

新たに発生する費用負担もあるため、企業様ごとに異なる採用計画や現場状況によって、現行の技能実習制度のうちに受入れるか、育成就労制度で受入れるか、どちらが適しているかを判断して頂く必要があります。

【育成就労外国人など 外国人材の活用メリット】

1. 安定した人材確保

計画的に採用でき、中長期の人員計画が立てやすい。

2. 若く意欲の高い人材

技能習得や日本語学習への意欲が高く、戦力化しやすい。

3. 高い定着率

制度自体が計画的な受入れを前提としており、就業継続が安定的。（幣組合の技能実習生定着率は約96%）

4. 社内体制の強化

外国人材に業務を教える過程で、教育体制やマニュアルの整備が進み、日本人スタッフにも良い影響が。

★外国人材活用は単なる人手不足対策だけではなく、企業全体の組織の活性化にも貢献します。



幣組合では、育成就労制度での受入れ時にN5合格を前提に、可能な限りN4レベルでの入国に向けて取り組んでいきます。日本語力を上げておくことが、配属後の現場での教育負担や日本語教育費用の軽減にもつながります。また、企業様の状況や考え方をお聞きして、技能実習・特定技能・育成就労の中から最適な制度をご提案しています。ぜひ、お気軽にお問合せください。



現場向け手引書

実際に外国人材を受入れる企業様向けに、すぐに役立つ旬の情報を発信！
日々の業務や指導、外国人材とのコミュニケーションにお役立てください。

技能実習生の寮に必須の「私有物収納設備」



技能実習生の宿泊施設（寮）には、法律で「個人別の私有物収納設備」の設置が義務付けられています。単なる棚やボックスでは不十分で、貴重品などの盗難が起きた場合には、実習実施者（企業）側の責任が問われる可能性もあります。実習生の安心、企業様側のリスク管理の側面でも、規定にあったものを設置し、実習生たちが日常的に正しく利用していることもご確認ください。



法律で義務化された“鍵付きの個人収納”

技能実習法において、適切な宿泊施設の条件として「私有物収納設備」の設置が明確に定められています。（個別に施錠可能な部屋である場合は除く）

【私有物収納設備の条件】

- ①身の回り品を収納できる一定の容量
- ②施錠できること
- ③1人1つの個人専用であること
- ④固定されている、大型で持ち運べないなど、持ち出せない構造であること

※ プラスチックケース、衣装収納ケース、スーツケース、押し入れの区切りなどでは基準を満たしません。
 ※ 幣組合では企業様や実習生に対して「鍵付きボックス」という名称で案内しています。

盗難が起きれば企業の責任問題に発展することも

収納設備が不十分なまま盗難が発生すると、実習生本人の被害だけでなく、実習実施者が管理責任を問われる可能性があります。

「鍵がなかった」「持ち出せる構造だった」などの状況は、監査や指導の対象となり、改善命令や制度上の不利益につながることもあります。

● 実習生たちにも使い方の注意を！ ●

現金やパスポートなどの貴重品は必ず「鍵付きボックス」に保管するよう指導してください。また、鍵付きボックスに貴重品を入れているのに、鍵をかけていない場合があります。必ず施錠するようにご指導ください。

今年もスタート！

〈日本語作文コンクール 2026年度の作品募集〉

今年度の第18回日本語作文コンクールの作品募集が6月1日よりスタートします！組合員企業様には事前にご案内をしていますが、今年の作文のテーマは「〇年後の私」です。

未来の自分の姿をイメージし、自身の未来予想図を作文として具体的に書くことにより、今、自分が何をすべきかを見つめ直したり、気づいたりするきっかけになることを期待しています。

昨年度も他組合との共同開催で570作品が寄せられました。どれも順位をつけがたい力作揃いで、賞を選ぶことに苦慮しました。本年度も審査員を困らせるほどの素晴らしい作品が多く寄せられることを心待ちにしております。たくさんの技能実習生たちのご応募をお待ちしています！

昨年度の最優秀賞
受賞者の受賞式
の様子



最優秀賞、優秀賞、佳作の受賞作品は記念作文集に収められます！

最優秀賞は賞金5万円！

賞にあわせて組合から賞金を授与します

発行元・お問い合わせ先

TEL： 06-6152-8808 (平日9時～18時) 担当：大阪本部 広報 井手
発行元： 協同組合 関西技術協力センター (一般監理団体/登録支援機関)

【お近くの事業所へお気軽にお問い合わせください！】

大阪本部 : 〒532-0033 大阪府大阪市淀川区新高3丁目9番14号ピカソ三国ビル4階

名古屋事務所 : 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号 フジオフィスビルディング4階 / TEL 052-459-5280

広島事務所 : 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10階 / TEL 082-546-1222

facebookでも
情報発信中！

関西技術協力センター

